

「関西万博へ行ってきました」(西村)

異例の速さで梅雨明けした 6 月、真夏日のような土曜日に関西万博へ行って来ました。真っ先に向かったアメリカ館は 2 時間以上の待ち時間で断念し、隣のフランス館へ。約 40 分で入館できました。テーマは「愛の賛歌」、壁一面に並ぶルイ・ヴィトンの 85 個のトランクがとても幻想的で、職人の細やかな愛、そしてシャインゴールドの輝きに息をのみました。予約していた日本館は、「循環」をテーマに、万博会場内で発生した生ごみを微生物の力で、水やエネルギーに変えるバイオガスプラントになっており、持続可能な未来の形を見学できました。また、世界最大級の「火星の石」の展示では、そのかけらに触れることもでき、宇宙を少しだけ身近に感じた瞬間でした。あまりの暑さに食べたキッチンカーで提供していたソフトクリームは衝撃の 900 円！でも、一番印象に残ったのは、全周 2 キロの木造建築「大屋根リング」です。世界各国のパビリオンがその中集まり、「多様でありながら、ひとつ」という万博理念が伝わり、改めて世界平和を心から願った一日でした。



知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【もしも確定申告を忘れたら？】

個人の確定申告は、前年分を翌年の 2 月 16 日から 3 月 15 日までに行います。では確定申告を忘れた場合はどうなるのでしょうか。期限内の申告忘れには「還付申告」と「期限後申告」の 2 つがあります。会社員のよう



に会社が年末調整を行い、医療費控除などのような年末調整の処理ができない税金を還付してもらう「還付申告」であれば、5 年さかのぼって申告ができます。一方、個人事業主が確定申告を忘れた場合は「期限後申告」になります。この場合は本来、納めなければならない税金の他に無申告加算税や延滞税がかかります。例えば、税務署の調査後に申告した場合には納付すべき税の 15%（一定以上の場合は異なります）が課されます。なお自主的に期限後申告をした場合は、無申告加算税が 5% に軽減されます。また何かの手違いなどで申告を忘れていたような場合には、無申告加算税が課されないこともあります。そのためには期限後 1 カ月以内に自主的に申告が行われていることなどの要件を満たす必要があります。

世界の偉人伝

今月の偉人：【オードリー・ヘプバーン】

オードリー・ヘプバーンはハリウッド黄金時代に活躍したベルギー生まれのイギリス人女優です。バレエの才能があり 10 代で舞台を経験します。その後、ブロードウェイの舞台『ジジ』の主演に抜擢、続いて映画『ローマの休日』のアン王女を演じ大ブレイクしました。『ティファニーで朝食を』など多くの映画に出演、ファッションアイコンとしても注目されました。晩年にはユニセフ親善大使を務め「エレガンスは色褪せない唯一の美」の言葉通り優雅な姿で世界を魅了した一生でした。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【紙幣】

二千円札は 2000 年 7 月に発行されました。もう四半世紀が経つんですね。「紙幣」は“bill”“note”“banknote”などといいます。「この紙幣を硬貨に両替してもらえますか？」は“Can you change this bill into coins?”、「ポンド紙幣にはチャールズ国王の肖像が描かれている」は“Pound notes feature the portrait of King Charles.”です。日本の紙幣はミツマタが原料の紙でできていますが、外国では高い耐久性などの利点がある「ポリマー紙幣」“polymer banknotes”が増えています。

トピック
を採る

いつかできることは
すべて今日でもできる

ほうれん草がしなびてしまったら、根元を少し切って砂糖水に浸けておくとシャキッとした食感が戻ることがあります。ゆでるときは根元を少し切っておくと甘みが増します。また、ゆでたほうれん草を冷水で冷やす際に、少量の砂糖を加えると色鮮やかになります。

知恵袋

今月の商売のヒント：【心を動かす「ストーリー」の力】

名前を入れることができる印鑑で、累計 13 万本を超える売り上げを記録しています。ヒットの要因は単なる可愛らしさだけではありません。「わが家の愛しい猫の名前が印鑑になる」という個人的なストーリーが、猫好きの琴線に触れたようです。そこに湧

き上がる温かい感情や懐かしい思い出が消費者の心に刺さったようです。「好き」をつくる町工場を自認している岡田商会のモットーは「義務を、遊びに。」小さな会社だからこそできる、顧客一人ひとりの感情に寄り添う視点がクチコミを呼び、熱烈なファンを生み出す原動力となっているのでしょう。モノがあふれかえる現代、人々の心を動かす「小さなストーリー」こそが、競争を勝ち抜くための最強の武器となる。岡田商会の挑戦は、その事実を私たちに教えてくれます。

トナリの本棚

第22回の「このミステリーがすごい！」大賞を受賞した、金融業界に身を置く白川尚史の小説。ミステリーと古代エジプトの世界観に引き込まれる一冊です。



皆様のご感想をお待ちしております😊😊😊😊😊😊😊😊